

【参考：事実関係】

平成31年

- 3月 8日 愛知県が文化庁に「あいちトリエンナーレ」における国際現代美術展開催事業に関する実施計画書を提出
愛知県が「あいちトリエンナーレ」プレスリリース冊子（案）に国際現代美術展の企画内容（「表現の不自由展・その後」を含む。なお、「表現の不自由展・その後」については、以下「本件企画」という。）を記載
- 3月中旬頃 愛知県が上記プレスリリース冊子の内部決裁を実施し、国際現代美術展の企画内容を把握
- 3月20日 愛知県が上記プレスリリース冊子について愛知県知事に報告
- 3月27日 愛知県が「あいちトリエンナーレ」についてプレスリリース
- 4月 4日 芸術監督が「あいちトリエンナーレ」実行委員会事務局（県の職員が兼務。以下「事務局」という。）学芸担当者に本件企画の出品候補リストを共有
- 4月11日 芸術監督が「あいちトリエンナーレ」実行委員会のキュレーター会議で本件企画の出品候補リストを共有
- 4月18日 愛知県の内部部局が本件企画に含まれる具体的展示内容の一部を把握し、事業の円滑な運営に支障が生じる懸念事項を芸術監督に伝達
- 4月25日付 文化庁「文化資源活用推進事業」の外部有識者による審査会を経て、文化庁より愛知県に採択通知を发出

令和元年

- 5月 8日 事務局が本件企画の実行委員会に、事業の円滑な運営に関する懸念を伝える（街宣車等による抗議や騒動の発生、執拗な抗議電話、展示中止の申入れ等が発生することに関する懸念）
- 5月22日 愛知県が警察と警備に関する打合せを実施
（愛知県が警察に本件企画の概略を伝えたところ、警察から、街宣車や作品破壊、危険物持込、爆破予告等のあらゆるリスクを想定した体制の構築の必要性や抗議団体等が他会場を訪れることも十分想定されること等について指摘を受ける。）
- 5月29日 愛知県が文化庁に補助金交付申請書（4月25日付）を发出
（5月30日文化庁受理 展示会場の安全や事業の円滑な運営を脅かすような重大な懸念に関する記載なし）
- 6月12日 事務局が愛知県知事に本件企画の全体の展示案について報告
- 6月13日 愛知県内部での検討を踏まえ事務局次長が芸術監督に懸念事項を伝達
- 6月20日 愛知県知事が芸術監督に展示内容や展示方法に関する懸念を伝達
- 6月29日 愛知県が、警備の都合から、本件企画の出品作品の事前発表を中止
- 7月 5日 愛知県県民文化局長が芸術監督に展示について懸念を伝達

- 7月11日 愛知県知事が芸術監督に対し、展示内容や展示方法について本件企画の実行委員会と協議するよう指示
- 8月 1日 「あいちトリエンナーレ」開会
- 8月 4日以降 本件企画中止
- 9月26日 文化庁が補助金不交付を決定
- 10月 8日 本件企画再開
- 10月14日 「あいちトリエンナーレ」閉会

<その他の事実関係>

令和元年

- 10月24日 愛知県から文化庁に不服申出書を提出

令和2年

- 3月19日 愛知県から文化庁に意見書及び申請額の変更を提出
愛知県が不服申出を取下げ
- 3月23日 文化庁が愛知県に対し、補助金交付決定
なお、不服申出以降、文化庁から愛知県に対し、内容に関する照会を行った。

<参考>

「あいちトリエンナーレ2019」

【テーマ】 情の時代 Taming Y/Our Passion

【芸術監督】 津田大介（ジャーナリスト／メディア・アクティビスト）

【会 期】 2019年8月1日（木）～10月14日（月・祝）[75日間]

【参加アーティスト数】 93組（※30の国と地域から）

【内 容】 国際現代美術展、映像プログラム、パフォーマンスアート、音楽プログラムなど

【主な会場】 愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか（四間道・円頓寺）、豊田市（豊田市美術館及び豊田市駅周辺）

【主 催】 あいちトリエンナーレ実行委員会（会長：大村秀章愛知県知事）